

B型肝炎ワクチン助成事業（救済措置）の取 り組みを

質問者 小川 龍美

平成28年2月、厚生労働省専門部会において0歳児を対象にB型肝炎ワクチンを10月から定期接種化することが了承された。B型肝炎は、ウイルスが血液や体液を介して感染することで発症し、悪化すると肝硬変や肝臓がんを引き起こす恐れがある。3歳までに接種することが望ましいが、平成28年3月以前に生まれた乳幼児は定期接種対象から外れてしまう。救済措置として町独自の助成事業を行うべきと考えるが、所見を伺う。